

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

HOSOKAWA: Meditation –to the victims of Tsunami 3.11–



KAHCHUN
WONG

Conductor

カーチュン・ウォン 指揮

マーラー国際指揮者コンクール優勝
欧米で注目を浴びる鬼才

©Hisao Suzuki



AKIKO
SUWANAI

Violin

諏訪内 晶子 ヴァイオリン

クラシック音楽の未来へ希望を託す
世界的ヴァイオリニスト

©Takaki Kumada

どんなときも寄り添う音楽がある。

細川俊夫: 冥想 –3月11日の津波の犠牲者に捧げる–

デュティユー: ヴァイオリン協奏曲「夢の樹」

マーラー: 交響詩「葬礼」

マーラー: 交響曲第10番から「アダージョ」

YNSO Subscription
Concert No. 607

06
APR.

Tue. 2021, 19:00
Suntory Hall

読売日本交響楽団 第607回 定期演奏会

2021年 4月6日(火) 19:00

サントリーホール

S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

読響チケットセンター 0570-00-4390(10時-18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

MAHLER: “Adagio” from Symphony No. 10

MAHLER: Totenfeier

DUTILLEUX: Violin Concerto “L’arbre des songes”

鬼才カーチュンが マーラー作品の神髄に迫り、 諏訪内晶子がデュティユーで 夢幻の世界に誘う！

欧米で脚光を浴びている指揮者カーチュン・ウォンが、得意のマーラー作品などで読響《定期》にデビューを果たす。“カーチュン”は、2016年にマーラー国際指揮者コンクールに優勝してその名を世界に轟かせ、18年にはドイツのニュルンベルク響の首席指揮者に就任。ニューヨーク・フィルやベルリン・コンツェルトハウス管などにも次々とデビューし、成功を収めている注目の鬼才だ。

カーチュンは、当初指揮する予定だった桂冠指揮者カンブルランが組んだプログラムを巧みに生かしながら、4曲を選んだ。1曲目には独自の世界観を持つ作曲家・細川俊夫が3.11の犠牲者に捧げて書いた「冥想」を演奏する。2011年から10年の節目に、細川の祈りに満ちた音楽と共に想いを巡らせる。続いて、20世紀フランスを代表する作曲家デュティユーが1985年に書いたヴァイオリン協奏曲「夢の樹」を世界的ヴァイオリニスト、諏訪内晶子の独奏で披露する。近現代曲に意欲的に取り組んでいる諏訪内が、デュティユー作品の中でも傑作との呼び声が高いこの曲を熱望し、今回のプログラムが実現した。多彩な技巧と繊細な表現力で作品の魅力を存分に伝えるだろう。タイトルの通り、樹木が常に新しい枝を伸ばして成長するイメージは、震災後10年の日本、そして世界のコロナ禍での状況で、音楽のたゆまぬ創造性を感じさせるものになるはずだ。

後半は、マーラーの交響曲第2番「復活」の第1楽章の初稿として書かれた交響詩「葬礼」と、遺作となった交響曲第10番から第1楽章“アダージョ”を演奏する。マーラーが生涯を通じて作曲活動の源とした、生と死、輪廻の思想を感じさせる二作品だ。最後に演奏する“アダージョ”では、作曲家の作品に込めた痛切な心の叫びが、浮かび上がるだろう。その静かで深い響きを、客席で体感していただきたい。

カーチュン・ウォン 指揮

2016年のマーラー国際指揮者コンクールで優勝して世界の脚光を浴びる鬼才。1986年シンガポール生まれ。シンガポール国立大学で作曲を学んだ後、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学に進学。巨匠クルト・マズア晩年の愛弟子として学び、ドゥッダメル、ゲルギエフ、ネゼ＝セガン、サロネンのアシスタントを務めた。これまでに、ニューヨーク・フィル、ロサンゼルス・フィル、チェコ・フィル、ベルリン・コンツェルトハウス管、トゥールーズ・キャピトル国立管、ロイヤル・リヴァプール・フィルなど、世界の著名オーケストラを指揮。18年9月からニュルンベルク響の首席指揮者に就任し、高い評価を得ている。読響とは19年2月《都民芸術フェスティバル》で初共演し、翌月の目黒区公演でも好評を博した。今回が3回目の登場となる。



©Hisao Suzuki

諏訪内 晶子 ヴァイオリン

世界各地で活躍する国際派ヴァイオリニスト。1990年に史上最年少でチャイコフスキー国際コンクールに優勝。これまでにサヴァリッシュ、スクロヴァチェフスキ、マゼール、メータ、ゲルギエフ、小澤征爾ら巨匠の指揮で、ベルリン・フィル、パリ管、ロンドン響、ニューヨーク・フィル、マリンスキー劇場管など一流の楽団と共演。幅広いレパートリーを持ち、シマノフスキ、ストラヴィンスキー、ベルクからペンデレツキ、エトヴェシュ、サロネンなど近現代作品の演奏にも定評がある。ルツェルン音楽祭やベルリン芸術週間などにも多数出演、自ら企画した「国際音楽祭NIPPON」の芸術監督も務めている。デッカ・レーベルから多数のCDをリリース。使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のグアルネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。



©Takaki Kumada

読響日本交響楽団 第607回 定期演奏会

2021年4月6日(火) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017